

Ⅷ 収支の見通し

収益的収支では水道料金収入は緩やかに減少しますが、給水原価は供給単価を下回り、黒字を維持できる見通しです。また、資本的収支では、川上ダム建設負担金の償還が発生しますが、企業債償還金は減少していくことから、収益的収支から発生する利益と内部留保資金により資金残高は現状維持が可能であるため、大きな社会経済情勢の変化がない限り、計画目標年次まで現状の水道料金体系で事業運営が可能であると判断しています。

※収支計画については、付属資料のとおり